

下村 悠天 個展
SHIMOMURA Yutak solo exhibition



www.kunstarzt.com

\ Re-touch

KUNST ARZT では、下村悠天の個展を開催します。

下村悠天は、二次元のキャラクターへの関心、
欲望を、結果として、絵画的イリュージョンを
誘発させてきたアーティストです。

シリーズでは、膨らませた風船の上にアクリル絵の具でキャラクターの顔を描き、萎んだ状態を“絵画”として表現する連作です。萎んだ状態が元のキャラクターが3次元化したという証も内包し、729個の萎んだキャラクターの顔がシンプルに並べられた作品「# #0」(2022)は圧倒的な凄みがあります。

本展では、現在展開中の#、\、Re-touch (当個展より「上」から改題)の3シリーズを同時にご覧いただける構想です。

お楽しみに。

(KUNST ARZT 岡本光博)



#0 (部分) 2022
パネルにアクリル 2250×2250mm

経歴

1999年 滋賀県生まれ
2018～ 京都市立芸術大学 美術学部 美術科 油画専攻 入学
現在 京都市立芸術大学院修士過程 絵画専攻油画に在籍

【グループ展】

2023年
「ARTISTS' FAIR KYOTO」/ 京都文化博物館 / (京都)
「Study: 大阪関西国際芸術祭」/ 大阪府中之島図書館、グランフロント大阪 / (大阪)
2022年
「とけあう痕跡」/ YOD TOKYO / (東京)
「It's Gonna Be Awesome!!! part2」/ YOD TOKYO / (東京)
「Open Studio Exhibition」/ 京都市立芸術大学 / (京都)
「SMILE」/ SUNABA ギャラリー / (大阪)
「ゆうだち」/ 新宿眼科画廊 / (東京)
「京都市立芸術大学 作品展」/ 京都市立芸術大学 / (京都)
「ゆきどけ」/ 新宿眼科画廊 / (東京)
2021年
「婆娑羅系 II」/ SUNABA ギャラリー / (大阪)
「むなの在りか」/ aotake / (京都)
2020年
「裏kawaii II」/ SUNABA ギャラリー / (大阪)
「スーパースプラウト～超☆芽吹き～」/ マンションみどり / (大阪)
2019年
「京都市立芸術大学 プレ作品展」/ 元崇仁小学校 / (京都)
「浮遊する変体 vol.2 coexitence」/ KAGANHOTEL / (京都)

2023年3月24日(火) から4月2日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティストステートメント

《Re-touch》シリーズについて

キャラクターやドットといった一つの境界であり、揺るがない平面であるものに対して「Re-touch」はふたつの働きかけがなされている。ひとつめは、二次元のキャラクターを指で暴力的に壊しながら、筆でそれを修正するようにして癒していること。そしてふたつめは、指でドットの輪郭を引き延ばし、筆で薄く溶いた絵具を重ねることで、ドット自体をぼかしていることだ。それらは、既存のイメージとの間の絶え間ない振動を表しながら、中間の領域をシームレスに描き出している。



左上
⊥ #30
2022年
パネルに綿布、転写シート、アクリル
275×195mm

右上
＼
2022年 アクリル 300×210mm

左
#0
2022年
パネルにアクリル 2250×2250mm